

2学期朝礼講話

おはようございます。

先ほど防災訓練をしましたが、本日は世界津波の日です。安政元年11月5日に安政南海地震があり、それにちなんだ日ですが、安政元年というのは1854年ですから今から170年前のお話です。先ほどの伊藤先生の話や私も2学期始業式に防災の話をしておりますので、ここでは割愛したいと思います。

2学期も半ばを超え、2年生においては高校生活の後半に入っています。3年生にとっては昨年の国内研修からの日々を早く感じたのではないのでしょうか。目下進路決定で大変な時であると思います。頑張ってください。1年生は高校生活って長いなあと感じる時です。改めて自分の進路を考えて目標をもっていただきたいと思います。2年生はいよいよ海外研修が近づいてきました。私はここで是非異文化体験をしていただきたいと思います。たかだか4日か5日ですが、何事も体験するという事は大切なことです。

一つの例を挙げてみます。皆さんが生まれる以前、私は県の教育委員会に勤務していました。教育委員会は県庁の中にあって、高校教育課や義務教育課とか色々な部署がある中で、青少年課という所で働いた時がありました。どんな仕事をしたかという青少年の悩みを考えることで、その頃浜松市の中学校で学校に行っていない不登校の生徒について手助けする仕事に関わったことがありました。

浜松市は当時合併した頃でしょうか。80万人も人がいる街の中学生が、そうですね百人以上は登校していなかったでしょうか。浜松市は外国籍の生徒もいて、そうした生徒たちは母国語があって日本語がうまく話せなくてコミュニケーションをとることに苦労しているうちに、登校しなくなった生徒がいました。他にも人間関係や学校で暴力行為ばかりふるって自宅待機していたりして色々でした。

そのような生徒たちが登校せずに自宅でひきこもっていたらよくないと、工場で働くようなボランティアを企画したりしました。対象者は16歳未満ですのでアルバイトも難しく、少しでも社会との関係を作ってあげようと考えましたが、なかなか長続きできない生徒も多く、なんとか登校できないか模索していました。

私の役割は浜松市と文部科学省との間をとりもつことでしたが、ある時浜松市の担当の方から海釣りをやらせてみたらどうかという提案がありました。担当の方自身が釣りが好きでしたから、段取りはとりやすかったんだと思います。募集したところ2人しか手を挙げてくれませんでした。私も担当の一人として参加することになりました。

場所は天竜川河口の福田港で、ここに集合して船で海へ出て釣るというものです。参加した一人は校内で暴力ばかりして相手にしてくれる人がいなくて自宅周辺でぶらついていました。私に対して「何でお前が乗ってんだよ」「何やってんだよ」と聞かれたので、「仕事で参加させてもらっているよ」「教育委員会っていう所から派遣されたんだ」と答えました。

もう一人の中学生はほとんど口をきかずに家にこもっていました。対照的な二人で、最初は
どうなるのかなと思いました。

私は船酔いがひどくて、釣り竿に餌をつけるあたりから気持ちが悪くなって船酔いをして
ました。人を気遣う前に自分自身が危ない状況でした。そうしたところ元気な中学生も同じ
ように船酔いをして寝込んでしまいました。

一方の無口な中学生は釣りは初めてとのことでしたが、面白いように魚が釣れてにこに
こしていました。その日は家に帰って自分が魚をたくさん釣ったことを家族の皆に伝えて
饒舌に話をしたということで、本当に楽しかったようでした。その後中学校に登校するよう
になったと聞かされました。船酔いしたもう一人はその後どうなったかわかりません。

一人の中学生がちょっとした体験ですごく変化した事例です。たった一人しか救えな
かった企画でしたが、人は変わるんだということを無口な中学生は証明してくれたわけ
です。

皆さんは富士市立高校に来て何か体験してすごく良かったことはありますか。楽しか
った充実した時はなかったでしょうか。3年生はいかがですか。面接で何か一つでも体験が話
せるといいと思います。1、2年生は本校で何か得ることがありましたか。ほんのちょっ
としたことでもいいんです。そういう思いを大切にしてほしいと思います。

以上で校長講話とします。

(令和6年 11 月 5 日、朝礼)